

知的障害のある児童生徒の 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて



学習指導要領の改訂に伴い、群馬県教育委員会では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、令和元年に「はばたく群馬の指導プランⅡ」を作成しました。

そこで、知的障害のある児童生徒が在籍する学級や学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けてのポイントや例を示し、先生方に活用していただけるよう、リーフレットを作成しました。



知的障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「はばたく群馬の指導プランⅡ」を参考にして問題解決的な授業づくりを進め、児童生徒の特性を踏まえた指導や対応をしていきましょう。

主体的・対話的で深い学びにするための授業づくりの基本

【はばたく群馬の指導プランⅡより】

1 児童生徒にとっての単元及び題材の課題を設定する。

児童生徒が、単元や題材で解決することや学習の方向性、目標に到達した姿をイメージできるようにしましょう。

2 単元及び題材の課題の解決（目標の到達）に向け、各単位時間をつなげる。

児童生徒の追究意欲や学習内容がつながる授業づくりをしましょう。

3 多様な考え方に触れ、自分の学びを広げたり深めたりできるような対話的な場面をつくる。

友達や教職員、地域の人々と話す、昔の人の優れた考え方や文献及び作品などに含まれる作者の意図に触れるなどの機会を位置付けましょう。

4 主体的に学び、学んだことを次の学習に活用できるように、各単位時間での「めあて」の設定と「振り返り」の場面をつくる。

児童生徒が主体者となり学習を進める授業の導入、自分たちで学んだことを自覚させる授業の振り返りを大切にしましょう。



群馬県教育委員会「たくましく生きる力をはぐくむ はばたく群馬の指導プランⅡ」 http://www.nc.gunma-boe.gsn.ed.jp/?page_id=40

知的障害のある児童生徒が主体的・対話的で深い学びをするための留意点

「特別支援学校学習指導要領解説」には、以下のことが示されています。

<学習上の特性>

- ・学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で生かすことが難しい。
- ・成功体験が少ないことなどにより、主体的に活動に取り組む意欲が十分育っていない。

<指導や対応>

- ・生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据え、繰り返し学習できるようにしたり、具体的に思考や判断、表現できるようにしたり、成功体験を増やしたりする。
- ・見通しをもって主体的に取り組めるよう、効果的な学習環境を設定する。
- ・児童生徒一人一人が充実感、達成感、自己肯定感を得られるようにする。
- ・児童生徒の興味・関心、得意な面に着目して、教材・教具の工夫や段階的な指導をする。
- ・児童生徒が頑張っているところやできたところを細かく認めたり、称賛したりする。

留意点としては、

- ・これまで実践している生活に即した学習や体験等を積み重ねながら、知識・技能、思考・判断・表現力を身に付けること
 - ・単元全体の課題や本時の「めあて」をもって学習に取り組むこと
 - ・本時で身に付けた力を、次時や他の授業、生活での活用に結び付けること
 - ・活動の振り返りやまとめをして、学びを深めること
- などへの支援や指導の工夫があげられます。
- 次ページを参考に授業を見直しましょう。





自分の授業記録や他の教師の授業を参観した際に、以下の視点を参考に、
□欄にチェックをしましょう。授業のよい点や課題が明らかになります。

主体的な学び

既習事項や生活経験などをもとに、学ぶことに興味をもたせ、見通しをもって粘り強く学習に取り組ませる

学習課題を具体的に理解している。

(例) 何を使って、何をするかを、教師と話している。



<支援>

- 活動が分かる環境設定
- 前時の振り返り
- ロールプレイの実施
- 動画の提示
- 完成品の例示

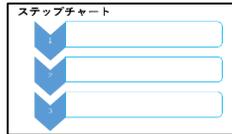
解決の見通しをもって取り組んでいる。

(例) 教材・教具や思考ツールを使用し、自分で解決を試みている。



<支援>

- 興味関心に基づく教材教具
- 手順を示す図表の掲示
- 思考ツールの活用



対話的な学び

友達や教師、地域の人など関わることができる学習形態や学習場面等を設定し、考えを広げたり深めたりさせる

他者と自分の考えを比較している。

(例) 集団で場を共有し、友達や教師の様子に視線を向けたりよく聞いたりしている。



<支援>

- 座席の工夫
- 誘いかけ
- 友達のやり方を紹介
- 既習の動画の提示

自分の考えを表現している。

(例) 教師と一緒に発表資料を作成し、教師が代弁して発表している。



<支援>

- 図や絵の使用
- 体験した際の写真や動画の提示
- ジェスチャーや指さしによる表現
- 教師の代弁

自分の考えをもっている。

(例) 教師や友達が提示した選択肢から選んだり見たりしている。



<支援>

- 選択肢の提示
- ロールプレイの実施
- 試行する活動の設定
- 決定する場の確保
- 思考ツールの活用

深い学び

成功体験や充実感、達成感等を得ながら、学んだことを次の学習や自己の生活と関連付けさせる

本時を振り返り、まとめている。

(例) 学びの過程を振り返るワークシートを手掛かりに、本時の学びをまとめている。



そうか、こうすればできるのだ!

<支援>

- 身体表現 (体験)
- ワークシートの工夫
- 写真、動画の提示

学びを次時や生活に生かそうとしている。

(例) ワークシートや映像などを手掛かりに、生活に生かしていきたいことを考えている。



<支援>

- ワークシートの活用
- まとめを動画に保存したタブレット端末の活用
- 生かせそうな機会や場を紹介



授業をチェックしたら、更に主体的・対話的で深い学びにするための具体的な改善策を考え、忘れないようにメモしましょう。

1 改善したいこと

主体的な学び

学習課題を具体的に理解している。

解決の見通しをもって取り組んでいる。

対話的な学び

他者と自分の考えを比較している。

自分の考えを表現している。

自分の考えをもっている。

深い学び

本時を振り返り、まとめている。

学びを次時や生活に生かそうとしている。

2 期待する児童生徒の姿



3 具体的な改善案